

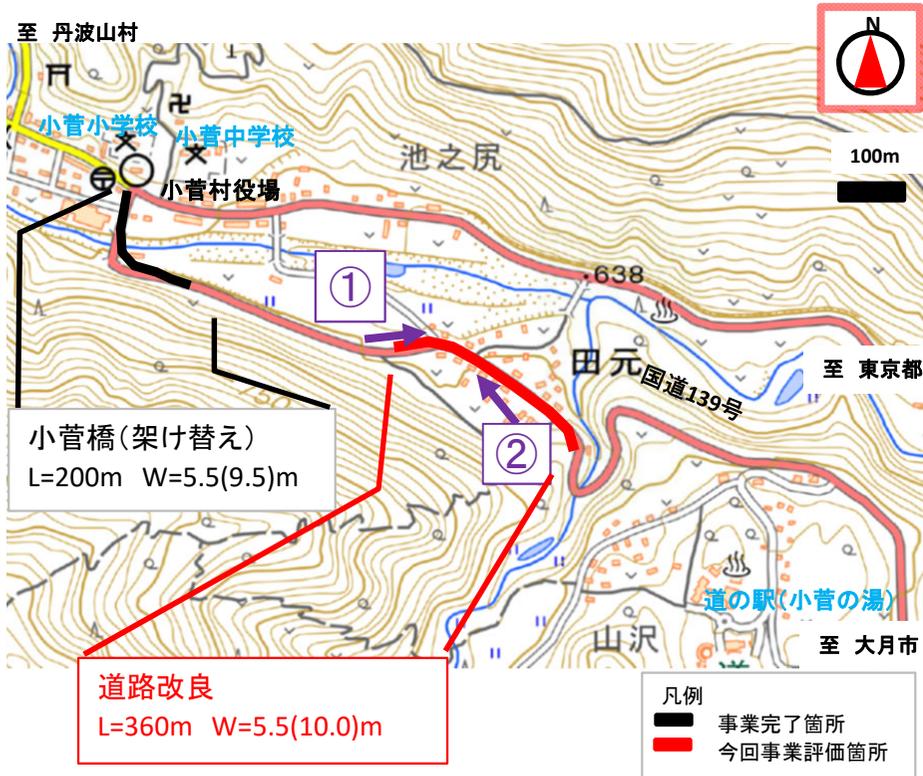
1. 事業説明シート

(区分) 国補・県単

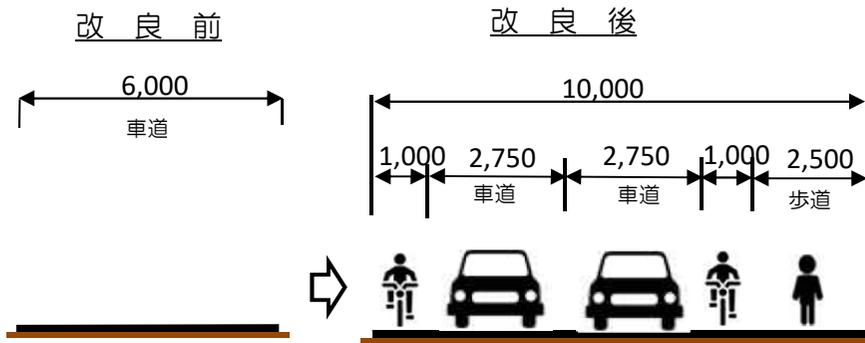
事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業(国補)]	事業箇所	北都留郡小菅村田元	地区名	国道139号 (田元拡幅)	事業主体	山梨県																																						
(1) 事業の概要				(3) 事業の妥当性評価																																									
①課題・背景 一般国道139号は、静岡県富士市を起点とし、東京都奥多摩町に至る幹線道路であり、大月市から県境にかけ第2次緊急輸送道路に指定されている。小菅村内の未整備区間約1.8kmのうち、田元地内は特に幅員狭小で歩道も無いため、大型車のすれ違いや緊急車両の通行、地元住民の安全な通行に支障を来すなど、交通の隘路となっている。 このため、道路利用者の安全性を確保することを目的に当該地区の道路整備を進める必要がある。				妥当 妥当でない ①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> ・一般通行の用に供する県道であり、極めて公共性が高い。																																									
②整備目標・効果 □主要目標 ○歩行者等の安全性の確保 ・歩行者・自転車交通量 26人台 (H27センサス) < 93人台/12h以上※ ・自動車交通量 655台/12h (H27センサス) < 3,428台/12h以上※ ・小中学校の通学路指定 あり※ ・現況の歩道幅員 0m< 1.4m※ ※評価基準値				②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> ・県管理国道で、道路法第12条により、県が行うべき事業である。																																									
□副次目標 ○生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上 混雑時走行速度: 28km/h (R3実測) < 30km/h以下※ 自動車交通量: 655台/12h (H27センサス) < 3,428台/12h (平日) 以上※ ※評価基準値				③経済妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>600 百万円</td> <td>工期</td> <td>R4~R10</td> <td>基準年</td> <td>R4</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>511 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">990 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>469 百万円</td> <td>走行時間短縮</td> <td colspan="2">882 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>42 百万円</td> <td>走行費用減少</td> <td colspan="2">50 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>交通事故減少</td> <td colspan="2">1 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">57 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">B/C</td> <td colspan="4">1.9</td> </tr> </table> ※その他は、救急救命率向上便益、観光客増加便益 費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。				総事業費	600 百万円	工期	R4~R10	基準年	R4	経済効率性	費用	511 百万円	便益	990 百万円		建設費	469 百万円	走行時間短縮	882 百万円		維持管理費	42 百万円	走行費用減少	50 百万円				交通事故減少	1 百万円				その他※	57 百万円		B/C		1.9			
総事業費	600 百万円	工期	R4~R10	基準年	R4																																								
経済効率性	費用	511 百万円	便益	990 百万円																																									
	建設費	469 百万円	走行時間短縮	882 百万円																																									
	維持管理費	42 百万円	走行費用減少	50 百万円																																									
			交通事故減少	1 百万円																																									
			その他※	57 百万円																																									
B/C		1.9																																											
□副次効果 ○緊急時の避難・救助機能の確保 (第一次緊急輸送道路の整備)				④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> ・道路整備に必要な必要最低限の範囲とする。																																									
(2) 整備内容				(5) 整備手法の有効性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																									
①整備内容 道路改良 L=360m W=5.5 (10.0) m ②着手年度 令和4年度 ③完成見込年度 令和10年度 ④総事業費 約600百万円 (国費363百万円(6/10)県費237百万円(4/10))				・周辺への影響をなるべく小さくするとともに、経済性に優れた最も妥当な計画とした。																																									
⑤年度別の整備内容 (事業費) <table style="width:100%;"> <tr> <td>令和4年度</td> <td>詳細設計</td> <td>10 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>用地測量調査</td> <td>10 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和6~8年度</td> <td>用地買収</td> <td>380 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和9~10年度</td> <td>道路改良工事</td> <td>200 百万円</td> </tr> </table>				令和4年度	詳細設計	10 百万円	令和5年度	用地測量調査	10 百万円	令和6~8年度	用地買収	380 百万円	令和9~10年度	道路改良工事	200 百万円	⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> ・現道工事であり、自然環境への負荷は最小限である。																													
令和4年度	詳細設計	10 百万円																																											
令和5年度	用地測量調査	10 百万円																																											
令和6~8年度	用地買収	380 百万円																																											
令和9~10年度	道路改良工事	200 百万円																																											
※記載内容は見込みであり、確定したものではない。 ⑥既整備内容・期間・事業費 ・小菅橋 (架け替え) 道路改良 L=200m W=5.5(9.5)m ・H25~H29 ・900百万円				⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> ・小菅村から早期整備の要望を受けている。																																									
				総合評価																																									
				[貢献度ランク: a]																																									
				(4) 事業位置図等 																																									

2. 添付資料シート

【平面図】



【標準横断面図】



【写真①】線形・視距不良



【写真②】歩道なし・幅員狭小

